



つなぐ未来
中村和也



令和8年度市長施政方針・行財政運営

問 予算はどのように編成しましたか。

答 「選ばれるまちづくり」を目標に掲げ、「はたらく親を応援するまち」を引き続き重要なテーマに、事業の必要性や効果、市民ニーズ、将来の財政負担を見極めて編成しました。

問 扶助費の見直しはどのように進めていきますか。

答 現在の社会状況に適合しているか、効果が費用に見合っているか、目的達成の手段として最適かを基準に見直していきます。また、必要に応じ経過措置を設けます。

子育てと教育

問 育休退園を含む保育の課題をどう改善しますか。

答 (仮称)成岩こども園の開園などにより待機児童の解消を目指し、その状況を見極めながら、育休退園への対応も検討します。

問 中高生の居場所づくりをどう進めますか。

答 当事者である子どもたちの声が重要であると考えています。毎年の「こども未来ミーティング」では中高生世代の声を聴いており、子どもや若者の意見は可能な限り取り入れていきます。

健康寿命延伸と市民の幸せ

問 健康寿命の延伸にどのように取り組んでいきますか。

答 「第3次健康はんだ21計画」に基づき、市民の健康づくりを進めます。卒煙支援ブースの設置などは、先進事例を参考に、本市としての最適な方法を探っていきます。



代表質問

(質問議員が執筆しています)

一般質問

(質問議員が執筆しています)



創造みらい半田
芳金秀展



幸せと挑戦のまちへ 半田市2030を問う

問 はたらく親を応援するまちの取組みと人口戦略の間にズレが生じていると考えますが、その原因と今後の対応はどのように考えますか。

答 令和6年度は出生数や転入者数が基準値を下回っており、市民が本市で子育てするメリットを十分に感じられていないことが要因と考えています。今後は、子どもの居場所づくりや好活支援などの施策をさらに強化するとともに、ターゲットを意識した効果的な情報発信により目標達成を目指していきます。

問 放課後の居場所については、単なる預かりではなく、子どもの成長を支える場として質の向上を図るべきと考えますがいかがですか。

答 小学校内に放課後の居場所を整備することとしており、将来的には全校に展開していきます。また、地域住民や団体と連携し、多世代交流の場として、子どもの社会性や非認知能力を育むとともに、多様な体験機会を提供する場として充実させていきます。

問 道の駅については、単体整備ではなく周辺施設と連携したエリア戦略として進め、交流人口の拡大につなげるべきと考えますがいかがですか。

答 周辺施設と連携したハブ機能としての可能性を認識しています。民間活力導入調査において、採算性や財政負担、地域への波及効果を含め、総合的に検討していきます。



子



麻生七海
(公明党)



民法の改正に伴う、法定養育費および共同親権導入への対応

問 離婚前後の家庭に対する養育費に関する相談・支援体制はどのようなですか。

答 自立支援員を配置し、養育費や親子交流、子どもの心のケア等の助言を行っています。

問 養育費に関する公正証書作成費用への補助について見解を伺います。

答 養育費の未払いを解消する効果は限定的と捉えているため補助を行う考えはありませんが、養育費等の取り決めの必要性などについては積極的に情報発信していきます。

問 新たに導入される月額2万円の法定養育費は、低額なため、市独自の補助を行いますか。

答 法定養育費の金額は国の検討会で決定されたものであり、養育費やそれを得るために必要な経費は、当事者である親が決め負担すべきものと考えられるため、本市が養育費の不足に対して補助を行う考えはありません。

問 共同親権制度導入の学校現場での対応を伺います。

答 学校や教育委員会は親権や監護権に関する情報を知り得る立場になく、これまでの実務上の取扱いで対応するものとされています。学校は同居する親に親権や監護権があるものとして対応してきており、今後同じ対応となります。ただし、父母双方が共同親権者となり、従来と異なる対応を求める場合には、個々の家庭の状況を踏まえ、適切に対応していきます。



議案審査の結果

委員会の活動報告

令和8年度 予算案の審査

高校生との交流事業